

# Gハンガー取り扱い説明書

## (1) 適用範囲

この規格は、コンクリート製品等のつり上げ金物「Gハンガー」についての取り扱い説明書である。

## (2) 各部の名称及び標準寸法

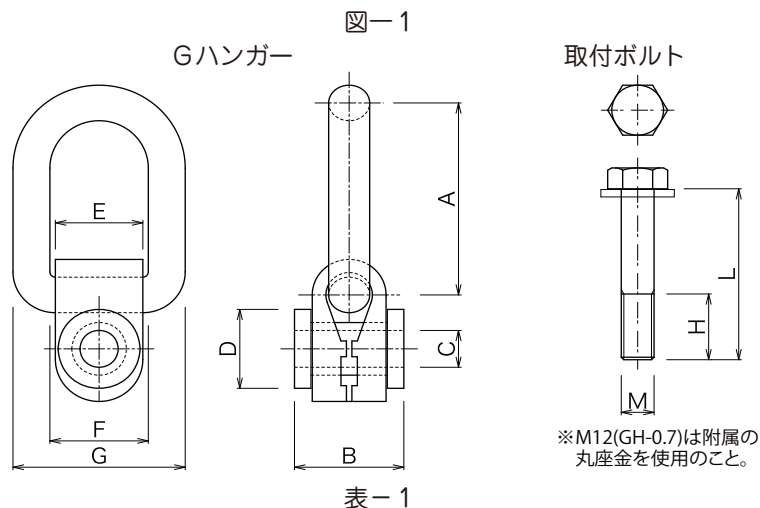


表-1

呼称	最大使用荷重 (ton)	取付ボルト(mm)		寸法 (mm)								備考
		ねじ(M)	長さ(L)	A	B	C	D	E	F	G	H	
GH-0.7	0.7	M12	65	105	40	13	30	32	36	63	25	丸座金付
GH-1	1.0	M16	70	105	40	17	30	32	36	63	30	
GH-2	2.0	M20	85	78	52	21	40	46	52	85	33	
GH-3	3.0	M24	95	78	52	25	40	46	52	85	43	

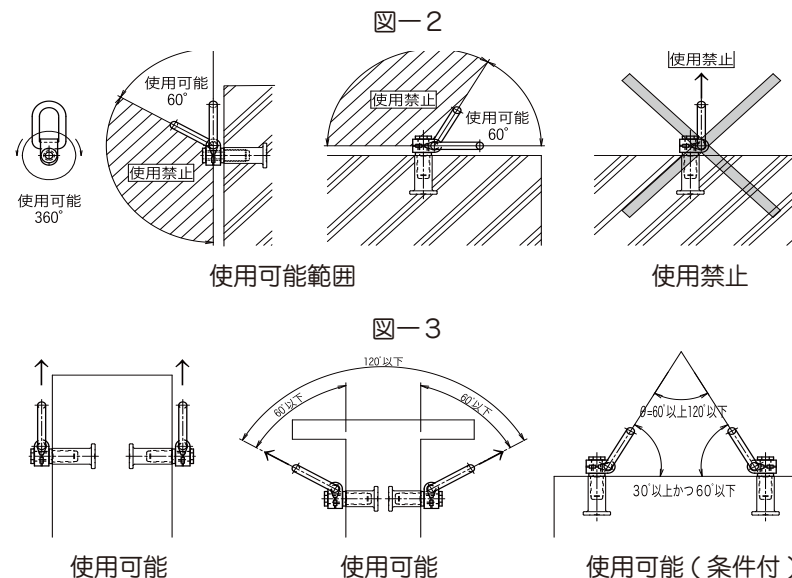
## (3) 使用可能範囲

- Gハンガーの使用可能角度範囲は、取付ボルト軸に対し360度(全周回転可能)及び座面と荷重方向のなす角度が0度から60度以下とする。(図-2参照)
- 吊り点数は2点以上とし、その荷重方向は座面に対し60度以下とする。(図-3参照) (※荷重角度による製品重量の割り増しを考慮する事が必要。表-2参照)
- 垂直吊り(60度以上)は、使用禁止とする。

表-2

吊り角度θ	0	20	40	60	80	100	120
割り増し係数	1.00	1.02	1.07	1.16	1.31	1.56	2.00

ワイヤー等で絞って吊り上げる場合、吊り元に生じる角度θは60度以上120度以下とする。



## (4) 取り扱い時の注意事項

Gハンガーは、消耗品ですのでご使用になるときは、下記の事項に注意し早めの取り替えをしてください。

### 注意事項

- Gハンガーの使用可能範囲を必ず守ってください(図-2参照)
- Gハンガーの使用荷重を必ず守ってください(表-1参照)
- Gハンガーの吊り環が吊り元側にくるようにしてください。
- 取付ボルトは強度区分10.9を基本とし、8.8以上を使用してください。
- M12用(GH-0.7)については、丸ワッシャー使用を厳守してください。
- 取付ボルトは確実に最後まで締め込んでください。

## (5) Gハンガーの点検

Gハンガーを使用前に点検してください。点検で異常があった場合は、即時使用を中止し新しいGハンガーと取り替えてください。

### チェック事項

- 本体・フック部及び回転軸に有害な変形・曲がり・クラック・傷・発錆等がないかチェックしてください。Gハンガー本体は、修理はできません。
- 取付ボルトに変形・曲がり、クラック等がないかチェックしてください。